

学校だより

9月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年 九月一日



力を伸ばす子供たち

校長 吉野達雄

今年の夏も猛暑が続き、外出するのが危険とさえ感じる日もありました。暑さは落ちついてきましたが「のどが渇いてからでは遅い」と言われますので、引き続き熱中症対策に努め、早めの水分補給を心がけましょう。また、台風等による自然災害も想定されます。災害が起きたときなどのような行動をとるのか、家族とはどのようにして連絡をとるのかなど、ご家庭で具体的に話し合ってください。九月一日は防災の日です。本校では三日（土）に引き取り訓練を実施しますのでご協力をお願いします。

さて、毎年のことですが、夏休み明けの子供たちにびつくりすることがあります。それは、体がひとまわり大きくなった子、顔つきが変わり自信で溢れている子など成長した姿を見ることができるところです。多くの体験や様々な経験が子供たちを成長させたのでしょう。夏季水泳教室を見ている、泳力が大きく伸びた子供たちがいます。泳ぎが苦手だった子があつという間に二十五m泳げるようになって、「さらにもっと泳ぎたい、もっと教えてほしい」などと積極的になった姿には感動しました。五年生は箱根夏季学園でたくましく成長しました。姫の沢アスレチックハイキングでは、暑さに負けずにみんなで声を掛け合ってゴールを目指しました。あの暑さの中、アスレチックを思い切り楽しむ体力には驚かせられました。素晴らしかったのは、大涌谷の黒たまご館や彫刻の森美術館での過ごし方です。多くの人々が利用する公共の場であることを意識し、声の大きさや歩き方に気を付けている姿は大変立派でした。さらに嬉しかったのは、箱根ニコニコ学園の施設長さんに学園での過ごし方がとても素晴らしい、区内小学校の中でも別格であるとお褒めの言葉をいただいたことです。

子供たちはどんなときも成長したがつています。私たち大人はそんな子供たちにきっかけを与えるのが役目です。体験の場や学習の場があれば、子供たちは自分で力を伸ばしていきます。白金小学校教職員一同、子供たちのために二学期も全力を尽くしてまいります。

自分の思いや考えを、自信をもって表現しよう！

研究主任 玉木 脩一

今年度は、『自分の思いや考えを、自信をもって表現できる児童の育成』を研究主題とし、校内研究を進めています。自分ならではの思いや考えを、相手に伝わるように言葉を選びながら、しっかりと声で、表情豊かに、自信をもって伝え合う。白金小のあちこちで、そのような子供たちの姿が見られたら、とてもすてきなと思います。また、このような力は、学校教育に限らず、よりよい社会をつくる上で基盤となる重要な能力だと考えています。そのために、白金小では「表現するために必要なスキルを身に付けさせる」「表現の内容を充実させる」「伝えたいという思いが態度や内容に表れるような学習活動を設定する」という三つの視点で、より効果の高い指導法を研究しています。

一学期には、第二学年と第五学年で研究授業を行いました。二年生は生活科の学習で、一年生に白金小のすてきな所を紹介する発表練習をしました。友達とアドバイスしながら練習し、その授業時間内でも、ぐんと発表が上手になりました。もちろん本番は、気持ちをこめて、白金小のすてきな所を一年生に紹介することができました。四年生は特別の教科道徳の学習で、「友達と助け合うことの大切さ」について話し合いました。オリジナルの「自信をもって表現するためのパーフェクトガイドブック」を活用して、自分の意見をしっかりと相手に伝えたり、友達の考えに真剣に聞き入ったりする姿が見られました。

二学期以降、他学年も研究授業を行っていきます。また研究授業を中心とし、日々の実践の中でこそ、子供たちが自分の思いや考えを、自信をもって表現することができるよう、学校一丸となって指導してまいります。



白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。